

全ての生き物は、図のようにお互いにつながり合い、支え合って生きています。

これらの関係が強いほど、自然がよく守られており、このことを「生物多様性が守られている」と言います。

ねいの里でも、生物多様性を守る

つながり支え合い生きる

ため、いろいろな工夫をしています。たとえば、いろいろなトンボのヤゴや、ヤマアカガエルのオタマジャクシなどがすむ池や湿地では、定期的



生き物のつながり

に草刈りや水の管理を行い、生息環境を守っています。

この作業により、これらの生き物をえさとするヘビやタヌキなどの少し大型の生き物もすめるようになるのです。

このシリーズも今回で最終回ですが、ねいの里ではこれからも、より

多くの生き物がすめるように、フィールドを整備していきますので、いろいろな生き物にあいに来てください。(富永宣宏)

＝おわり



生物多様性が守られている湿地